

日 時：令和2年1月30日（木）18時30分 ～20時00分

場 所：荒田農業研修センター

対象地区：荒田

出席人数：15名

■要望、質疑応答

内 容
<p>○防犯灯及びカーブミラーの設置について</p> <p>（市民から）</p> <p>福家から荒田地区方面に向かう途中にカーブがあるが、ここに防犯灯とカーブミラーを設置してもらいたい。</p> <p>（市から）</p> <ul style="list-style-type: none">・現場を確認して担当課から回答する。
<p>○平川市発注工事への地元業者の利用について</p> <p>（市民から）</p> <p>平川市が発注する大きな建設工事は、JV（共同企業体）への発注となっているが、市内の業者に仕事が回ってこない。建設事業の規定などもあると思うが、市内の建築物は地元業者に仕事が回ってくるようお願いしたい。</p> <p>（市から）</p> <ul style="list-style-type: none">・受注した大手企業には、出来るだけ地元業者を使うよう依頼はしているが、お願いしか出来ないのが現状である。・今後、新庁舎建設の予定があるが、大手企業でなければ建てる事が出来ないと思われる。受注業者のみで建設を進めるのか市内の企業を入れるのかは不明である。この場合も、市からは地元業者を使うようにとお願いすることしかできない。受注業者の意向によるところが大きい。・市の「すこやか住宅支援補助事業」においては、地元業者が施工する場合は、補助額が上がるように設定している。
<p>○除雪について</p> <p>（市民から）</p> <p>今年は降雪量が少ないため、あまり除雪が入っていなかったが、先日2回ほど除雪車がきた。2回とも雪が降った翌日だったが、自宅を除雪した後に雪の塊を置いて行かれたため大変困った。この遅れは除雪業者の作業状況によるものか。</p> <p>（市から）</p>

- ・基本的に市の除雪は、10センチ以上の積雪または積雪の可能性がある場合に出動することになっている。
- ・地域によってはボランティアで高齢者の除雪補助をしているところもあるが、市内全域ではない。すべての町会で実施することは難しいと思うが、互いに助け合っている地域づくりが必要だと考えている。

(市民から)

今の話については、業者が他の地区の除雪対応で手が回らなくなり、時間内に荒田地区に來れなかったため、遅れて除雪を実施したと聞いている。この業者の担当業務量が多いのではないかと思う。他の地区を先に除雪して、遅くなると荒田地区に除雪に來ないのは不公平ではないか。

(市民から)

荒田地区の除雪は、幹線道路を2者、それ以外を当該業者が実施しているが、これを1者にした方が効率的ではないか。

(市から)

- ・来年度の除雪計画において、路線の見直しを含めて検討する。

○市道尾上小和森線の歩道縁石の一部撤去について

(市民から)

市道尾上小和森線の歩道縁石について、1つだけでも撤去することは出来ないものか。

(市民から)

警察にお願いしに行ったところ、市役所を通すように言われた。この現場は児童が縁石に引っかかって転倒し、自動車に轢かれそうな事態が2回も起こっている危険な場所である。町会としては、まず縁石を一部撤去し、可能であれば横断歩道の設置を要望する。

(市から)

- ・公安委員会からは、横断歩道の設置基準及び必要性に欠けるため設置不可能という回答があった。横断歩道の設置が困難な状況下で、歩行者を横断させる構造を設けることは危険な環境を作ることになりかねない。

○市道尾上小和森線の歩道について

(市民から)

送電線の鉄塔によって、歩道が狭くなっている箇所がある。子どもたちの通学路となっているが、冬は歩道に除雪機が入れないうえ、道路を除雪した雪が歩道に積まれていくので危険である。また、鉄塔から小和森方面に20メートルほど進んだところの道路が溝に

なっており、雨が降ると水溜まりになるため、確認してもらいたい。

(市から)

- ・現場を確認して回答する。

○市道荒田新屋線への防犯灯の設置について

(市民から)

集会所から柏農高校前駅の十文字に向かう途中にあるカーブの箇所が暗いため防犯灯を設置してほしい。

(市から)

- ・現場を確認して回答する。

○市内小中学校におけるパソコンの設置について

(市民から)

国が小中学校にパソコンを一人一台配備する方針を打ち出したが、平川市ではどのような対応をするのか教えてもらいたい。

(市から)

- ・平川市では、一人一台設置する方向で検討しており、来年度モデル事業を実施する予定である。
- ・パソコンの通信環境と本体の整備が必要となる。指導者の知識等の習熟も含めて、数年後の一人一台設置に向けて動いているところである。

○市内小中学校の給食費無償化について

(市民から)

現在、県内で給食費を無償としてる自治体は、何団体あるのか。田舎館村でも実施すると聞いた。少子化が進んでいるため、子育てに力を注いでいる平川市も給食費無償化を実施してほしい。

(市から)

- ・県内では、上北、三八地域の6町村で給食費の無償化を実施していると把握している。
- ・5月時点での市内一日あたりの給食数は約2千340食であり、年間で39万4千食を配給している。
- ・材料費のみで小学校が1食260円、中学校が1食280円となっており、消費税増税時も増額していない。
- ・給食費の無償化となると、材料費のみで年間1億1千万円、人件費等を含めると2億5千万円の経常経費がかかる。経常経費が増えすぎると市の財政が硬直化してしまい、財

政難に陥ってしまう恐れもある。

- ・国からの補助金の動向や市の将来的な財政状況などを見据えながら予算を組んでいるが現時点では、給食費の無償化を実施することは難しい。

○小学校の統廃合について

(市民から)

大坊小学校が複式学級になったと聞いている。黒石市でも小学校の統廃合が行われた。少子化が進んでいるので、平川市も統廃合を考えなければならないのではないか。経済面からも小学校を統合して、スクールバスとした方がよいのではないか。

(市から)

- ・小学校の統廃合は少子化時代においては、避けて通れないことであり、平川市は合併後、小国、葛川、広船小学校を廃校とした。大坊小学校は3年生と4年生の2クラスが複式となっている。
- ・碓ヶ関小学校の児童数は48人だが、統合する小学校がないため、中学校と併置することで検討している。
- ・学校の統廃合については、経済面では統合したほうがよいかもしれないが、学校区単位での地域コミュニティも存在するため、地域全体のことを考えなければならない。
- ・小学校の統廃合は、今後の入学児童数や学校の改修・改築などを踏まえ検討する必要がある。教育委員会でも、現状と将来を見据えて学校規模や統合などの検討をしている。

○議員報酬増額に対する市の考え方について

(市民から)

議員定数は削減されたが、報酬が増額となった。それでは、あまり経費削減とならないのではないか。市ではこのことをどのように考えているのか。

(市から)

- ・市議会議員の報酬や市三役の報酬は、報酬審議会で審議された後、議会の議決を得て決定している。報酬審議会では、県内外の人口が同程度の自治体の報酬と比べるなど審議を重ねた。
- ・平川市議の報酬は合併時に多少増額したが、他市と比較しても少ない報酬であった。増額後は黒石市と同程度である。
- ・市議会議員は住民の代表として、市内の実情を調査したり、平川市の将来のために勉強しながら、行政をチェックするなど活動している。